

令和7年度 文書館の逸品第1弾「田村梶子による手習本」

(展示期間：令和7年5月1日(木)～6月29日(日))

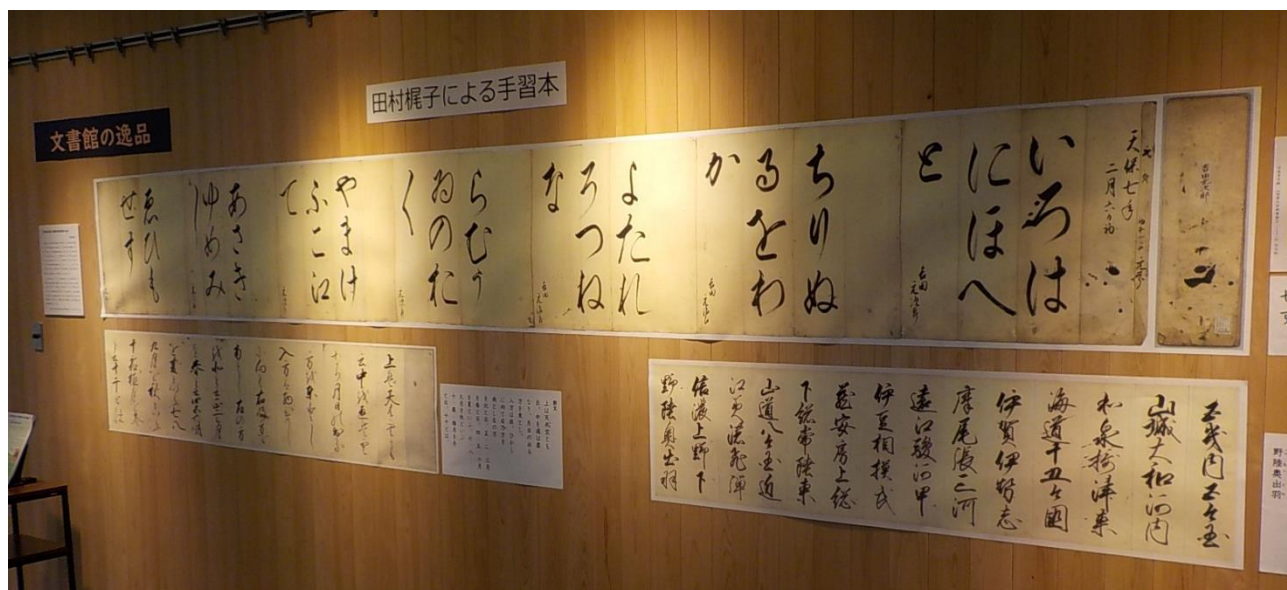
県立文書館では、令和7年5月から「文書館の逸品」と題して、新たな展示を行います。文書館1階ロビーにおいて、収蔵文書から厳選した逸品を2か月間展示します。隔月で展示替えを行い、年間6回(5月、7月、9月、11月、1月、3月)開催します。

第1弾は「田村梶子による手習本」です。田村梶子(天明5(1785)年生)は下久方村(現桐生市)で寺子屋松声堂を主宰していた女性師匠であり、幕府の大奥に出仕して祐筆をつとめたといわれる能筆家です。

その梶子が筆子(ふでこ)(弟子)の吉田元次郎のために書いた手習いを展示します。平仮名を学ぶ「いろは」、自然現象や衣食住などの語句を学ぶ「近道(ちかみち)子宝(こだから)」、当時の国名を学ぶ「国尽(くにづくし)」の3点です。

これらは歴史資料としてだけでなく、「美しい書」としても鑑賞することができます。

なお、1階展示室において「テーマ展示2『近代ぐんまの女性たちー歴史と現在をつなぐ軌跡ー』」は6月29日まで会期を延長して開催しておりますので、併せて御覧ください。



- 1 日程 令和7年5月1日(木曜日)から6月29日(日曜日)(月曜日、月末、国民の祝日を除く。)
午前9時～午後5時まで(閉館の10分前までに御入館ください)
ホームページ <https://www.pref.gunma.jp/site/monjyokan/>
- 2 会場 群馬県立文書館 1階ロビー
〒371-0801 前橋市文京町三丁目27-26(二子山古墳の西隣)
- 3 観覧料 無 料
- 4 問合せ 電話：027-221-2346 メール：monjyo@pref.gunma.lg.jp